

たんちよう

JAくしろ丹頂
広報誌

vol.110

2016.11

くしろ丹頂

グランドチャンピオン獲得!!



(写真提供・十勝農協連)

林 稔幸 氏 所有 (写真中央)

CONTENTS

- 2016 北海道ホルスタインウインターフェア ————— 1
- 農協法公布記念日にあたって ————— 2
- 平成28年度 秋季地区別懇談会 ————— 3
- 白糠町ふるさと給食週間出前授業
JA女性部幌呂支部 野菜即売会「もぎたて市」 — 4
- G'Grass (グッドグラス) 2016
釧路地区青年部スポーツ交流会 ————— 5
- JA青年部・JA女性部合同「根釧牛乳」をPR
釧路地区乳用牛ベストパフォーマンス実現セミナー — 6
- 普及センターだより ————— 7
- 理事会報告 / 生乳生産実績
釧路管内JAパークゴルフ大会 ————— 8
- JAグループ通信 ————— 9



サイレージの品質チェック・グッドグラス2016

2016 北海道ホルスタイン ウィンターフェア

林 稔幸氏「ウツズスター コロナ ホワイトストーン ローズ」
初のグランドチャンピオンの栄冠に輝く!!

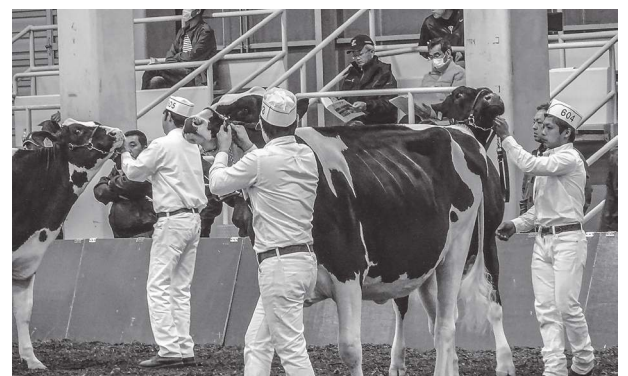


入賞牛一覧 (当JA出品分)

グランドチャンピオン (インターミディエイトチャンピオン)

11部 1位	ウツズスター コロナ ホワイトストーン ローズ	林 稔幸 (白糠)	
部	順位	名 号	出 品 者 (地区)
2部	17位	エルムパーク BC フランチエ	安藤 功 (幌呂)
3部	7位	TKS ウルオ ウノ	清水 武志 (鶴居)
6部	9位	トミー サンチエス ブレツシング	(農)清和農場 (鶴居)
9部	2位	ウツズスター ブロー ジュディー タラ ET	林 稔幸 (白糠)
11部	1位	ウツズスター コロナ ホワイトストーン ローズ	林 稔幸 (白糠)

十月二十三日、十勝農協連
家畜共進会場 (音更町) で、
2016年北海道ホルスタイン
ウィンターフェアが開催
されました。
全道各地から代表牛141
頭が出場し、ブロイス・トン
プソン氏 (カナダ・イースト
サイドファーム社) が審査に



審査風景

あたりました。

当JAからは、四農場・五
頭が出品され、林稔幸氏の
「ウツズスター コロナ ホワ
イトストーン ローズ」が第
11部 (ジュニア3歳クラス)
で1位及びグランドチャンピ
オン (インターミディエイト
チャンピオン) をみごと獲得
しました。

当JA出品者の成績は表の
とおりです。



農協法公布記念日にあたっての 組員・役職員へのメッセージ

北海道農業協同組合中央会

会長 飛田 稔 章

昭和22年11月19日に農業協同組合法（農協法）が制定され、今年で69年を迎えました。

戦後の食糧不足の混乱期に、農業者の協同組織の発達を通じ、「農業生産力の増進」と「農業者の経済的社会的地位の向上」を図り、国民経済の発展に寄与することを目的として農協法が制定され、農協が設立されました。

農協は「農業者による農業者のための組織」であり、協同組合原則に掲げる「自主・自立」「民主的運営」の基本に立ち、相互扶助の精神のもと、幾多の困難な状況を乗り越え、組員の皆様の営農と生活の安定並びにより良い地域社会の実現を目指し、総合事業を展開しながら今日に至っております。

言うまでもなく、農協法は農協の組織・事業を運営する基本法として極めて重要な役割を担っておりますが、農協法公布記念日を契機に、組員・役職員の皆様と改めて協同組合の原点に立ち返り、その意義と役割についての共通認識を深めたいと考えます。

まず、協同組合の経済的意義ですが、新自由主義経済の考え方が浸透していく中、東京大学大学院の鈴木宣弘教授が指摘された「今だけ、金だけ、自分だけ」という傾向が最近強まってきたように思われます。

このような自分一人の利益を追求するところに協同の目的はありませんが、では協同組合の中に個人の立場、自分一人の利益はないかといえ、決してそのようなことはなく、皆の利益、協同の利益のために尽くすことが、自分の利益に還ってくる、これが協同活動の経済原理であります。

つまり協同活動に参画することで、組員であれば等しく協同の利益に預かることができ、他人を押しつけてでも自分だけの特別の利益を得ようとするような理不尽な欲望は協同組合は満たしてくれないということです。協同組合は私欲を満たす組織ではありません。自分だけの利益指向という非協同の新自由主義経済には、一面自分だけの不利や損害はあり得るのですが、協同組合にはそのようなリスクを回避あるいは分担

できる安全保障機能のあることを再認識すべきと考えます。

つぎに協同組合の社会的意義としては、協同の力で共存同栄の理想社会を築き上げて行くところにあります。社会が悪い、経済の仕組みが悪いと嘆くだけでは通用しない組織です。むしろ私たちの協同活動で、その悪い社会や経済の仕組みを改良して行くのだ、という理想感、責任感に燃えて、『万人は一人のために一人は万人のために』全力を尽くして行くのでなければならぬと考えます。

つまり、協同組合の目指すところは、安全かつ平和な公正社会の実現です。しかし、そのような理想を実現するには、協同の利益とその公平な分配に満足する心の改革が伴わなければなりません。協同組合学習とはそうした心の改革をするための研鑽と修業することに外ならないのです。

組員の皆様には日常の営農と生活の協同活動および協同組合学習を通じ、協同組合の経済的社会的意義と組員の役割について今一度熟考して頂ければ有難いと思います。協同組合の組員であることに誇りと自負が持てる組員でありたいものです。

役職員の皆様は、協同組合運動の率先垂範者として、誰よりもJAの運営原則である協同組合理念について正しい理解と深い洞察がなければならぬと考えます。

協同組合を深く理解する近道は、農協の歴史を知ることです。農協には先人が編纂して頂いた記念誌があると思います。入植の歴史、冷災害との格闘の歴史、経営危機あるいは成功、目覚ましい成果等、現代の私たちが知ることができない史実が記述されております。そのような危機等を先人はどのようにして乗り越えて来たのか、我が農協の歴史が全て教えてくれます。

役職員の皆様には何よりもまず歴史を学ぶことの重要性を認識して頂き、協同組合の価値を伝える語り部となつて頂きたいと思ひます。

新自由主義経済への対抗軸としての協同組合の価値を広く道民に発信し続け、理解と共感を得ることが、永年に亘り先人が築き上げた地域農業並びに協同組合の基盤をさらに発展させ、後世にしっかりと引き継がれ、持続可能な農業へと繋がるものと確信しております。

最後になりますが、未曾有の台風災害を被り、復旧は始まったばかりであります。今後とも、JAグループ北海道は、組員の皆様が夢と希望を持つて営農と生活が続けられる環境を整えること、地域農業と農協の発展に全力でサポートすることをお誓い申し上げます。農協法公布記念日にあたってのメッセージと致します。

具体的な質問・意見・要望等が出される!!

～平成28年度 秋季地区別懇談会～



挨拶をする武藤組合長



幌呂会場（鶴居・幌呂地区）

平成二十八年度 秋季地区別懇談会が、十月二十六（二十七日の二日間、二会場（音別・幌呂）で開催されました。

組合員の皆様方には、定期的に農作業等で大変お忙しい中、二日間で計三十六名の方々に出席頂きました。懇談事項として、最近の酪農・畜産情勢等、平成二十八年度更正計画等について説明がありました。

出席した組合員の皆様方からは、農協各部門における事業運営方針、酪農経営の維持・発展に向けた組織体制づくりなどに対する具体的な質問・意見・要望等が数多く出されました。

今回、組合員の皆様方から出された質問・意見・要望等は集約され、理事会において協議して参ります。

今後も地区懇にご出席頂き、皆様の生の声をお聞かせ願います。



音別会場（音別・白糠地区）

「白糠町ふるさと給食週間 出前授業」を実施

～ J A 女性部白糠支部による食育教育～



酪農について教える對木美由紀支部長

十月十七日、白糠小学校で J A 女性部白糠支部及びよつ葉乳業(株)根釧工場による「白糠町ふるさと給食週間出前授業」が行なわれました。

小学三年生を対象に社会学習の一環として、「根釧牛乳」の消費拡大と地産地消の意識を根付かせる「食育教育」を目的に毎年実施されています。

当 J A 女性部白糠支部の部員とよつ葉の担当者が講師となり、「牧場のしごと・牛のからだ・牛乳のきるまで」などについてわかりやすく説明し、児童達は「酪農」について学びました。

給食時には、児童達に根釧牛乳をおいしく飲んでもらいました。

自家産の新鮮野菜を格安で販売!!

～ J A 女性部幌呂支部「もぎたて市」～



十月二日、セイコーマート幌呂店駐車場で、J A 女性部幌呂支部が「もぎたて市」を開催しました。

このもぎたて市は毎年開催されており、部員達が愛情込めて作り上げた自家産野菜を格安で販売しています。店頭には新鮮野菜の数々(かぼちゃ・長ネギ・じゃがいも・キャベツ等)が並び、通りすがりのお客様や地元の方々などで賑わいました。

吉田鈴子支部長は、「今年野菜の出来は、全体的に良くありませんでしたが、部員達の

努力で開催することが出来ましたが、毎年来てくれるお客様もおり大変感謝しています。これからも部員共々力を合わせて開催して参りたい。」と述べ、即売会は大盛況のうちに終了しました。

基礎飼料品質の更なるレベルアップを目指して!!

～ G'Grass (グッドグラス) 2016 ～



真剣に聞き入る参加者たち

十月二十八日、鶴居村総合センターで、釧路農協連・釧路地区酪農対策協議会主催による「G'Grass (グッド・グラス) 2016 (フォーラム&展示会)」が開催されました。

草地型酪農経営が主体である当管内の自給飼料品質の更なるレベルアップ及び地域酪農産業の安定と向上を図る目的で開催され、管内の農業者・各関係者計166名が参加、当JAからは組合員、役員員合わせて35名が参加しました。



展示ブースで説明を受ける

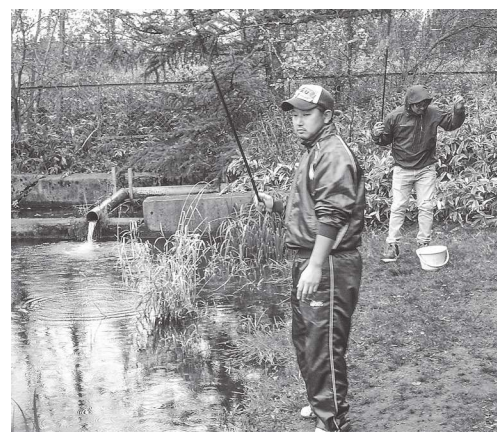
やまべ釣り大会で釣果を競う!!

～釧路地区 青年部スポーツ交流会～

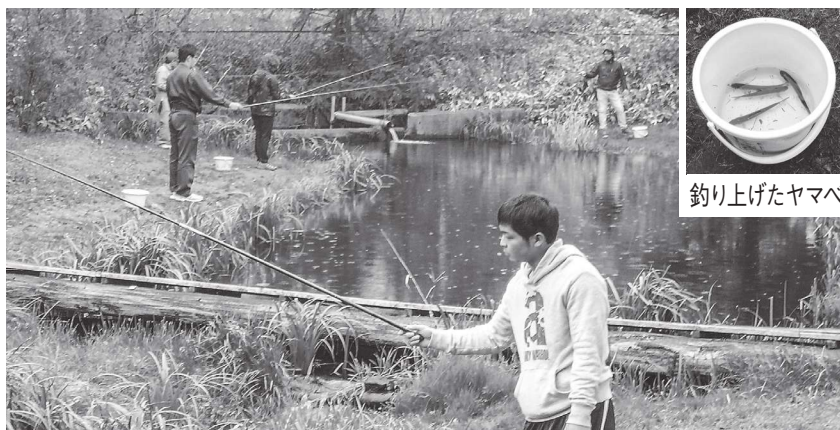
十月十七日、鶴居村大津釣り公園で、釧路地区農協青年部協議会スポーツ交流会が開催されました。

管内6JAから計30名、うち当JAから8名が参加し、毎年ソフトボール大会が実施されていましたが、今年は趣向を変えヤマベ釣り大会を行ないました。

制限時間(一時間)内の釣果を競



みごと優勝した菱沼恭平さん(手前)



釣り大会の様子



釣り上げたヤマベ

い、当JAの菱沼恭平さん(鶴居)が23匹を釣り見事優勝しました。

終了後の懇親会では、釣りあげたヤマベを天ぷらにしてもらい、部員同士の交流の中心として頂きました。

「根釧牛乳」のおいしさを広く伝えたい!!

～JA青年部・JA女性部合同 消費拡大運動～

十月二十九日、コープさっぽろ釧路星が浦店で、当JA青年部・女性部合同による牛乳消費拡大運動を実施しました。

両部員の5名により、店内の特設売り場で「根釧牛乳」を無料配布しました。

吉田鈴子女性部長は、「私達女性部は、

女性協議会などでも地元ぐるみで消費拡大運動として、乳製品の飲み方や料理方法などについて提案しています。今、私達が出来る事を消費者へ伝え続けていきたい。」

一方、對木賢雅青年部副部長は、「今年は災害



根釧牛乳のおいしさを伝えた吉田鈴子女性部長

が多く大変な年でしたが、私達が生産した牛乳をいかにして消費者の皆様にご飲んで頂くかを考え、部員一同活動して参りました。」と話し、女性部とともに根釧牛乳の美味しさをPRしました。

テーマ「乳用後継牛確保に向けた課題と技術的対応について」

～釧路地区乳用牛ベストパフォーマンス実現セミナー～

十月十三日、本所で釧路農協連主催による「釧路地区乳用牛ベストパフォーマンス実現セミナー」が開催され、当JA及び管内の農業者・各関係者計35名が参加しました。

セミナー

では、釧路農協連 永井照久氏が講師となり、「北海道に酪農経営が定着して以降、これまでどのような変化を遂げ、その変化を受け入れつつ、継続発展していくためには皆の英知結集が必要であり、次世代へ受け



講師：永井照久氏



渡せられる北海道酪農の確立がポイント」等の説明を受けた他、牛群検定Webシステムの活用方法について学び、大変意義のあるセミナーとなりました。

今年の粗飼料の使い方 (その一牧草編)

今年は長雨や台風の相次ぐ上陸により、粗飼料の確保量不足や品質低下が心配されます。そこで今年の粗飼料の使い方について、二回に分けて考えてみたいと思います。一回目は牧草についてです。

1 生育及び収穫作業の経過

● 一番草

・萌芽期から六月上旬までは順調に生育していたが、六月中旬以降天候不順が続き、収穫が一週間程遅れ、七月にずれ込んだ。

● 二番草

・刈り取り時期が八月の長雨で平年より二週間以上遅れた。これらの経過より、刈り遅れや枯れ草の混入、下草のむれなどによるサイレージ品質の低下が懸念されます。

2 収量(表1)

- ・一番草の収量は、2026kgと平年の91%となった。
- ・二番草の収量は、942kgと平年の75%となった。

- ・一番草と二番草の合計収量は85%となり、サイレージ確保量の不足が心配される。

表1 H28年中西部支所管内の収量調査結果
(市町村、JA、普及センター調査による)

	H28	平 年	平年比
1 番草	2,026kg	2,229kg	91%
2 番草	942kg	1,260kg	75%
合 計	2,968kg	3,489kg	85%

3 栄養価

十月末時点までに揃った中西部支所管内のデータから、今年の傾向を見てみましょう(表2)。

● 一番草

収穫時期までに低温、多湿で経過したため、牧草の生育ステージは進んでおらず、全道の平均と比較して、TDNは高く、繊維含量(NDF)は低い傾向です。一方、粗タンパクは低い傾向にあります。

● 二番草

一番草同様、栄養価の低下は見られない傾向ではありましたが、嗜好性の確認など引き続き品質を確認する必要があります。

また、あくまで現時点での傾向ですので、粗飼料分析を行い栄養価の把握に努めましょう。

表2 平成28年度粗飼料の分析値
(ホクレン受付分 1 番草22点、2 番草8点)

		中西部	全道平均	全道対比
1 番草	T D N	61.0	58.2	105%
	C P	9.4	10.4	90%
	N D F	64.9	68.8	94%
2 番草	T D N	61.7	59.9	103%
	C P	14.8	13.0	114%
	N D F	60.5	61.3	99%

4 粗飼料利用計画を立てる

- ・今年の在庫量を確認し、不足が見込まれる場合は代替飼料の確保を検討する。
- ・地域内に粗飼料の余剰が無い情報収集する。
- ・飼料供給元に購入粗飼料(例：ルーサンヘイ、クレイニングラスなど)や中間飼料(例：ビートパルプ、大豆皮、リント付き綿実など)が供給可能か確認し、飼料設計担当者と利用方法を検討する。

5 給与方法

● 食い込み量の確認

開封時にサイレージ品質を見ながら、牛が十分に食べているかを確認しましょう。

● 食い込みが悪い場合

- ・糖蜜飼料など嗜好性の良い飼料を併給する。
- ・不良発酵によりアンモニア態窒素が高い場合は、吸着効果が期待できるゼオライトを添加する。
- ・二次発酵している場合は、部分的な廃棄、一日分を無駄なく使い切る、プロピオン酸の噴霧、カビ毒吸着剤を検討する。

● 粗飼料の組み合わせ

二番草単体での使用にならないよう、一番草やコーンと組み合わせるようにしましょう。

※次回はコーンサイレージの使い方についてです。

(平成28年10月作成)

理 事 会 報 告

10月定例理事会 平成28年10月31日(月)

報告事項

1. 専決事項及び諸会議について
2. 各委員会・諸会議等について
3. 9月末財務状況について
4. 事業の実施処理状況について
5. 内部審査の結果について
6. 経営定期点検の実施結果について
7. 理事に対する資金の貸付報告について
8. (株)ジェイエーコムズ取締役会の報告について
9. (株)ジェイエーコムズにかかる監事監査報告について

付議事項

- 議案第1号 平成28年度営農振興資金の貸出条件の設定について
- 議案第2号 融資の承認について
- 議案第3号 固定資産の取得について
- 議案第4号 平成28年度森林整備事業の実施について
- 議案第5号 諸規程等の制定について
- ※以上全件原案通り承認されました。

その他協議事項

1. 秋季地区別懇談会における意見・要望等について
2. JA役員道内視察研修について
3. 当面の業務日程について

■平成28年度 生乳生産実績(10月)

	月計乳量(kg)	10月前年比(%)	累計乳量(kg)	累計前年比(%)
釧路丹頂農協	8,237,512.7	97.2	59,755,438.1	100.6
(鶴居地区)	2,844,780.0	98.5	20,421,048.2	100.1
(幌呂地区)	2,218,317.8	99.5	15,935,229.7	103.0
(白糠地区)	1,676,691.6	94.1	12,388,963.2	98.8
(音別地区)	1,497,723.3	95.4	11,010,197.0	100.1
管内計	43,323,280.4	98.1	318,316,042.2	102.0
(前年度管内計)	44,154,235.0		312,156,036.1	



十月一日、太田農村公園パークゴルフ場で、管内JA役職員パークゴルフ大会が開催され、管内4JA・各連合会の役職員計48名がチーム(4名1組)に分かれ18ホールで競技が行なわれました。

当JAは、団体の部準優勝(西村・坪田・橘田・片淵)、同3位(相楽・久保田・高橋・山本)

個人の部優勝 高橋 綾・同3位 西村 隆志が表彰されました。

管内JAパークゴルフ大会開催

編集後記 EDITOR'S NOTE

□ 今年収穫された粗飼料は、普及センターの分析によると、天候不順や台風による影響、刈り遅れなどにより、収量の減少や品質の低下が懸念されております。粗飼料分析による栄養価の把握、利用方法などについて早めの対応を検討して参りましょう。

J Aグループ通信

J Aグループの連合会・中央会の活動内容を紹介します。

J A北海道大会決議事項の実践やその時々の特ピックスなど、組合員の皆様に定期的にお伝えします。

各団体の詳しい取り組み内容はWEBサイトをご覧ください。

J A北海道中央会

7月に公開したスマートフォンアプリ「J A 2 M P」のダウンロード数が5000件を突破しました。

J Aが登録するチェックインスポットの数は約1200件。地域によっては地元食材を使う飲食店を登録するなど、工夫を凝らしております。

北海道の農畜産物が当たるプレゼントキャンペーンも実施中。

チェックインスポットを回って集めたポイントを利用してぜひご応募ください！詳細はアプリ内お知らせに記載しております。

※第1弾の応募期間は年内12月31日までです。



J A北海道信連

度重なる台風の上陸・接近により道内各地で甚大な農業被害が発生し、8月16日から9月1日の期間の災害が激甚災害に指定されました。

北海道農業信用基金協会と協調のうえ災害復旧および再生産に向けて、農業者への資金供給に取り組むこととし、今般の農業災害に対応するJ A農業経営緊急支援資金の本年度貸付分について、①貸出条件の拡充、②借入れ利息の5年間無利子化、③保証料負担の軽減を実施します。



ホクレン

皆様へ感謝の気持ちを込め「ホクレンパールライスファン感謝祭2016」を石狩市のホクレンパールライス工場で開催。

「ごちそう新米ふるまいコーナー」や、「米俵1俵争奪 大ジャンケン大会」など、多彩なイベントで来場者に楽しんでいただきました。

入場料は全額を石狩市に寄付、子育て支援や幼児教育等次世代育成事業などに活用されます。



J A共済連北海道

10月よりJ A自動車共済加入者向けスマホアプリ「J A共済くるまのミカタ」が新登場。

緊急時にGPS機能によるレッカー・ロードサービスの要請※やトラブル時の画像送信も可能になります。位置情報が確認可能なことで、事故受付もスムーズに。詳しくは、「くるまのミカタ」で検索をお願いします。

※交通事情、気象状況等やご利用の地域により一部サービスの提供が出来ない場合があります。



J A北海道厚生連

組合員ならびに地域住民の皆様の生命と健康を守るため、本会事業の積極的な啓発推進を図ることを目的として、広報誌「すまいる」を発行しております。年3回発行しており、様々な医療・健康情報を発信しております。

ホームページにバックナンバーを掲載しております。是非ご一読ください。

